

訪問リハに関する意識調査

(社) 熊本県理学療法士協会

訪問リハ対策特別委員会 調査チーム

目次

- P. 1 目次
- P. 2 調査概要
- P. 3 調査結果サマリー
- P. 4 回答者属性

- P. 5 I-i:あなたの担当の1ヶ月(H22年10月)の訪問リハ利用者数は何件ですか？(※参考値)
- P. 6 I-ii:それはどこからの訪問リハですか。派遣元
- P. 7 I-iii:あなたの担当の1ヶ月(H22年10月)の短期集中リハ加算件数は何件ですか？(※参考値)
- P. 8 I-iv:あなたの担当の1ヶ月(H22年10月)の訪問リハ利用者の介護度はどれ位ですか？(※参考値)
- P. 9 I-v:訪問リハを希望されたのはどなたですか。
- P. 10 I-vi:訪問リハを実施する主な目的は何ですか。
- P. 11 I-vii:訪問リハに期待する事(あるいは、もっと改善すべきところ)は何ですか。
- P. 12 I-viii.1:訪問リハを利用してどの様な感想をお持ちですか？/あなた自身のご感想
- P. 13 I-viii.2:訪問リハを利用してどの様な感想をお持ちですか？/利用者・ご家族からのご感想
- P. 14 II-i:現在訪問リハを使っていない理由について伺います。
- P. 15 II-ii:上記II-iの理由が改善されれば、訪問リハを使ってみようと思いますか。

調査概要

調査目的

熊本県内介護支援専門員の
訪問リハビリテーションに関する意識調査。

調査対象者

熊本県内居宅介護支援事業所 602事業所の
介護支援専門員

有効回答:487名

調査方法

アンケート調査

調査期間

H22. 6. 12 ~ H22. 6. 30

H22. 11. 13 ~ H22. 11. 30

調査結果サマリー

➤ 訪問リハ使用者向け

●1ヶ月あたりの訪問リハ利用者数は、平均4.17件。 *参考値

「1件」が最も高く29.7%、次いで「2件」が21.6%、「3件」が15.3%となった。

●訪問リハの派遣元は、「病院」が最も高く57.9%。

次いで「訪問看護ステーション」が42.7%、「介護老人保健施設」が12.7%となった。

●1ヶ月あたりの短期集中リハ加算件数は、平均1.59件。 *参考値

「0件」が最も高く66.9%、次いで「1件」が14.4%、「2件」が5.2%となった。

●訪問リハ利用者の介護度は、「介護1」が最も高く42.7%。 *参考値

次いで「介護2」が41.7%、「介護3」が39.3%となった。

●訪問リハの利用を希望したのは、「御家族」が最も高く69.5%。

次いで「利用者本人」が67.4%、「あなた自身(介護支援専門員)」が51.3%となった。

●訪問リハ実施の目的は、「筋力・持久力訓練」が最も高く69.5%。

次いで「関節可動域訓練」が59.4%、「屋内歩行訓練」が56.5%となった。

●訪問リハに期待することは、「日常生活が維持・向上できるようなリハビリ」が最も高く14.1%。

次いで「本人の精神的支援・意欲向上への支援」が7.5%、「個々の状態・要望に応じたリハビリの実施」「家族への支援・指導・情報提供」がともに6.3%となった。

●訪問リハ利用に対する、回答者自身の感想は、 「本人の状態・住環境に合ったリハビリを行える」が最も高く19.3%。

次いで「利用者の啓発・意欲向上が期待できる」が14.7%、「適切なアドバイス・指導をしてもらえる」が14.1%となった。

●訪問リハ利用に対する、利用者・ご家族からの感想は、 「身体的能力が改善された」が最も高く10.1%。

次いで「感謝・満足している／利用して良かった」が9.5%、「明るさ・活気・意欲が出てきた」8.4%となった。

➤ 訪問リハ非使用者向け

●訪問リハを使わない理由は、「対象者がいないから」が最も高く76.3%。

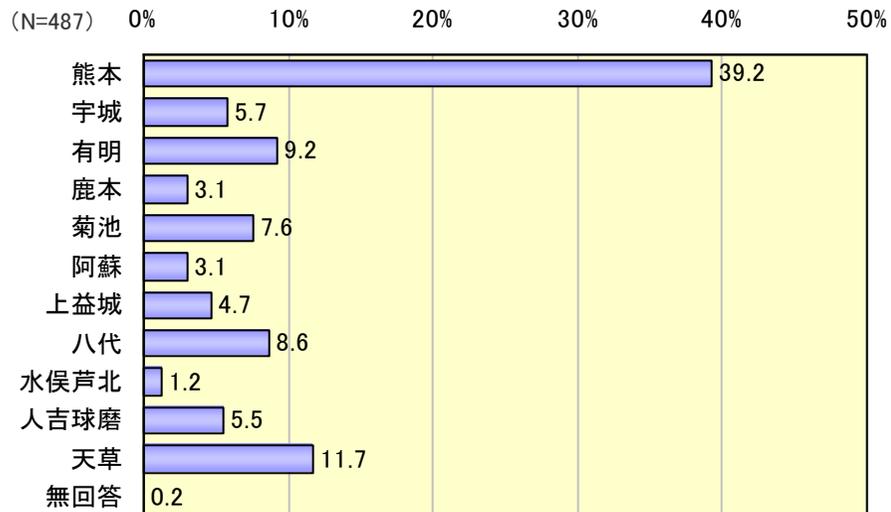
次いで「通所系のサービスを利用することで十分目的を果たせると考えるから」が32.6%、「訪問リハを実施している事業所がないから」が8.9%となった。

●上記の理由が改善された場合の訪問リハ使用意向は、「(使ってみよう)と思う」が81.5%。

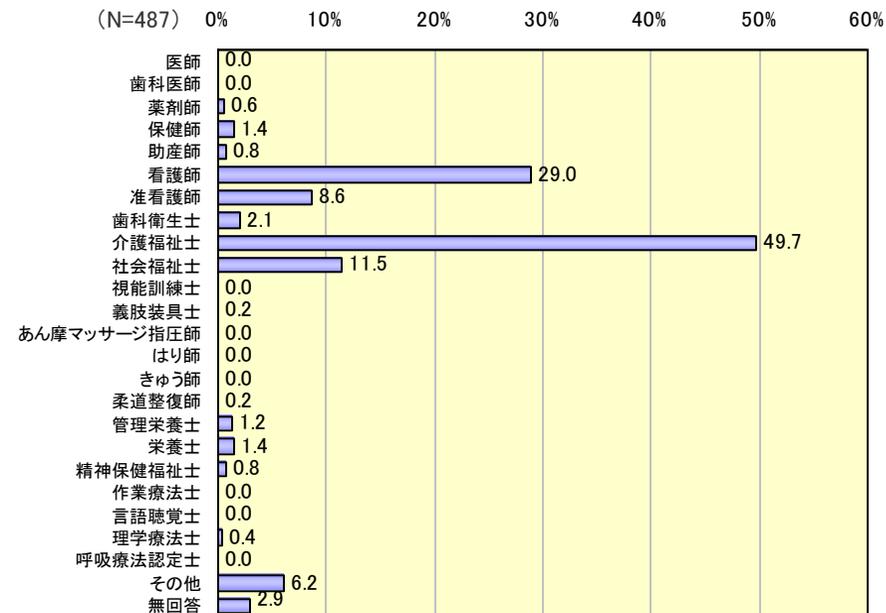
「(使ってみよう)思わない」は2.2%に留まった。

回答者属性

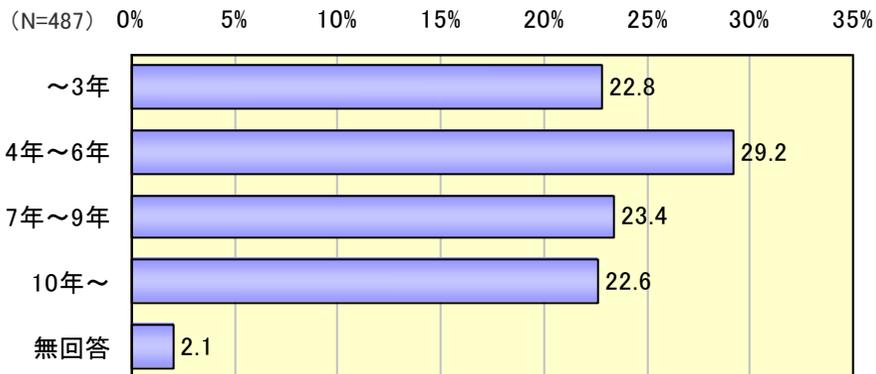
圏域



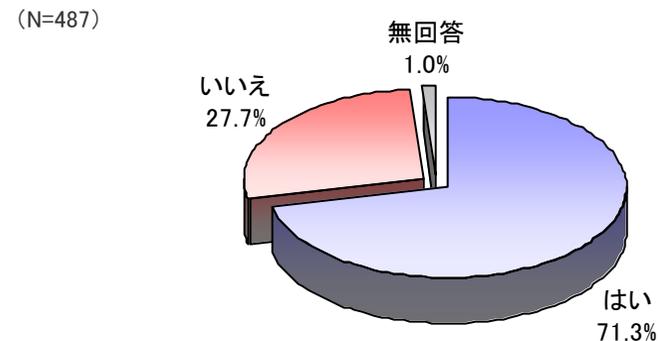
所有資格



介護支援専門員としての実務経験



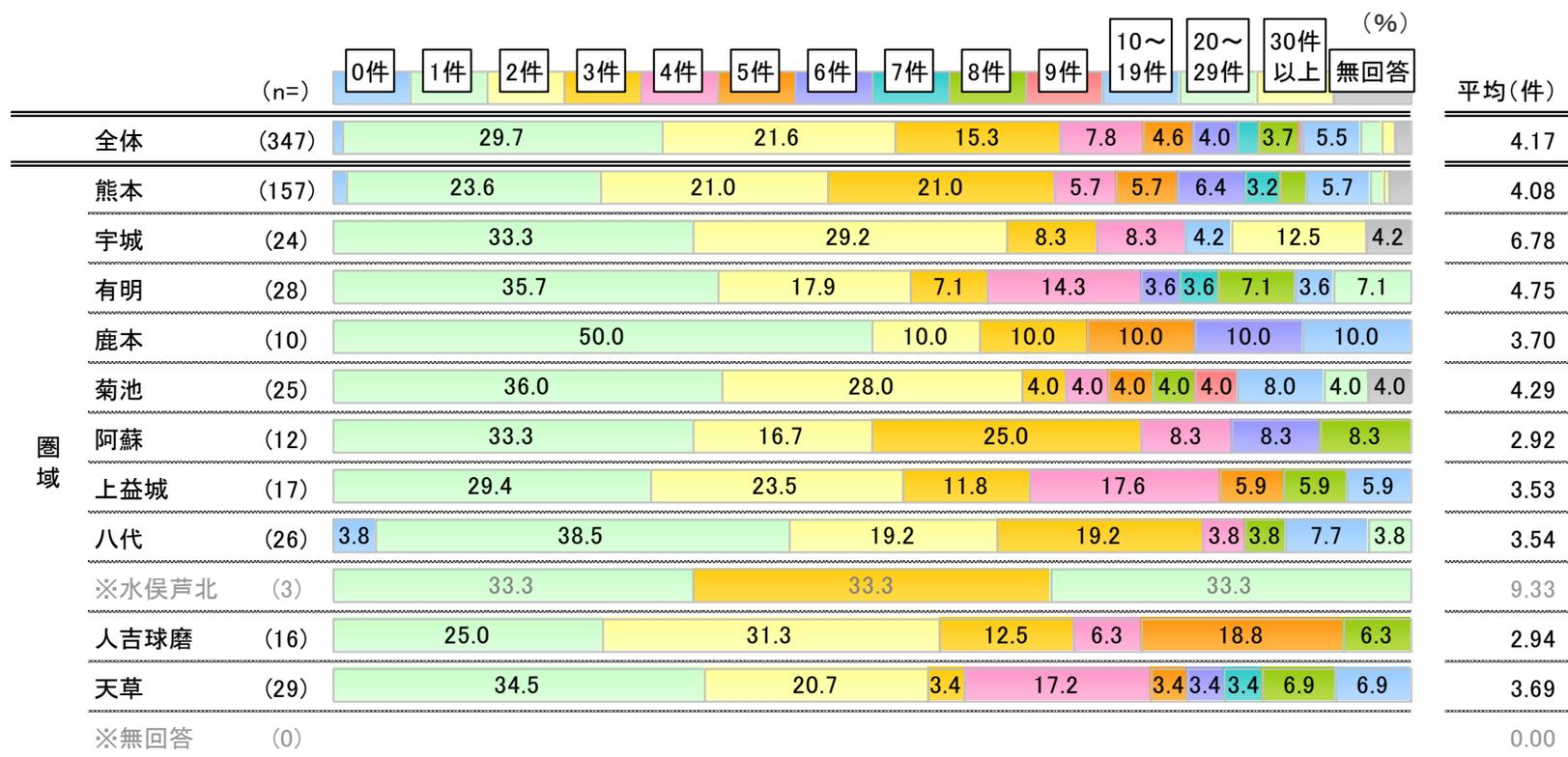
訪問リハの使用



I - i :【訪問リハ利用者】あなたの担当の1ヶ月(H22年10月)の訪問リハ利用者数は何件ですか？

※参考値

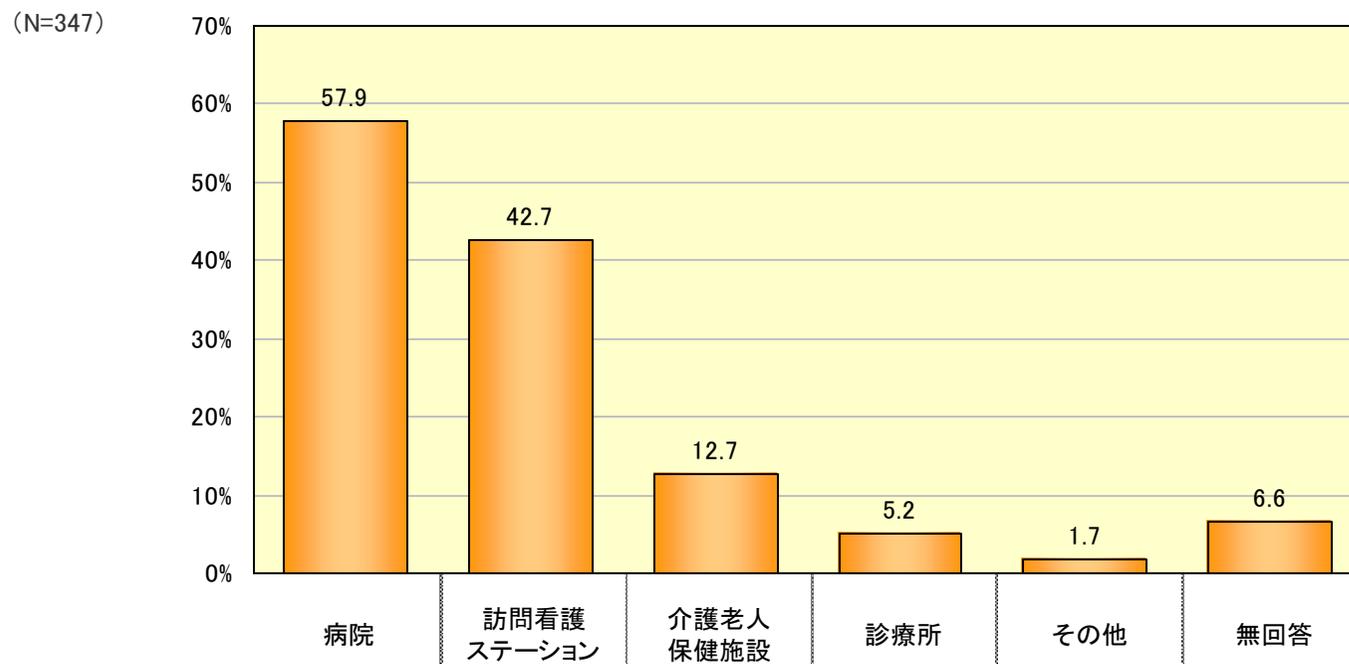
- 全体では、「1件」が最も高く29.7%、次いで「2件」が21.6%、「3件」が15.3%となった。平均件数は4.17件となった。
- 圏域別で平均件数を見ると、最も多かったのは『宇城』で6.78件、次いで『有明』で4.75件、『菊池』で4.29件となった。一方、最も少なかったのは『阿蘇』で2.92件、次いで『人吉球磨』で2.94件となった。



※ サンプル数が少ないため参考値

I - ii :【訪問リハ使用者】それはどこからの訪問リハですか。派遣元 [複数回答]

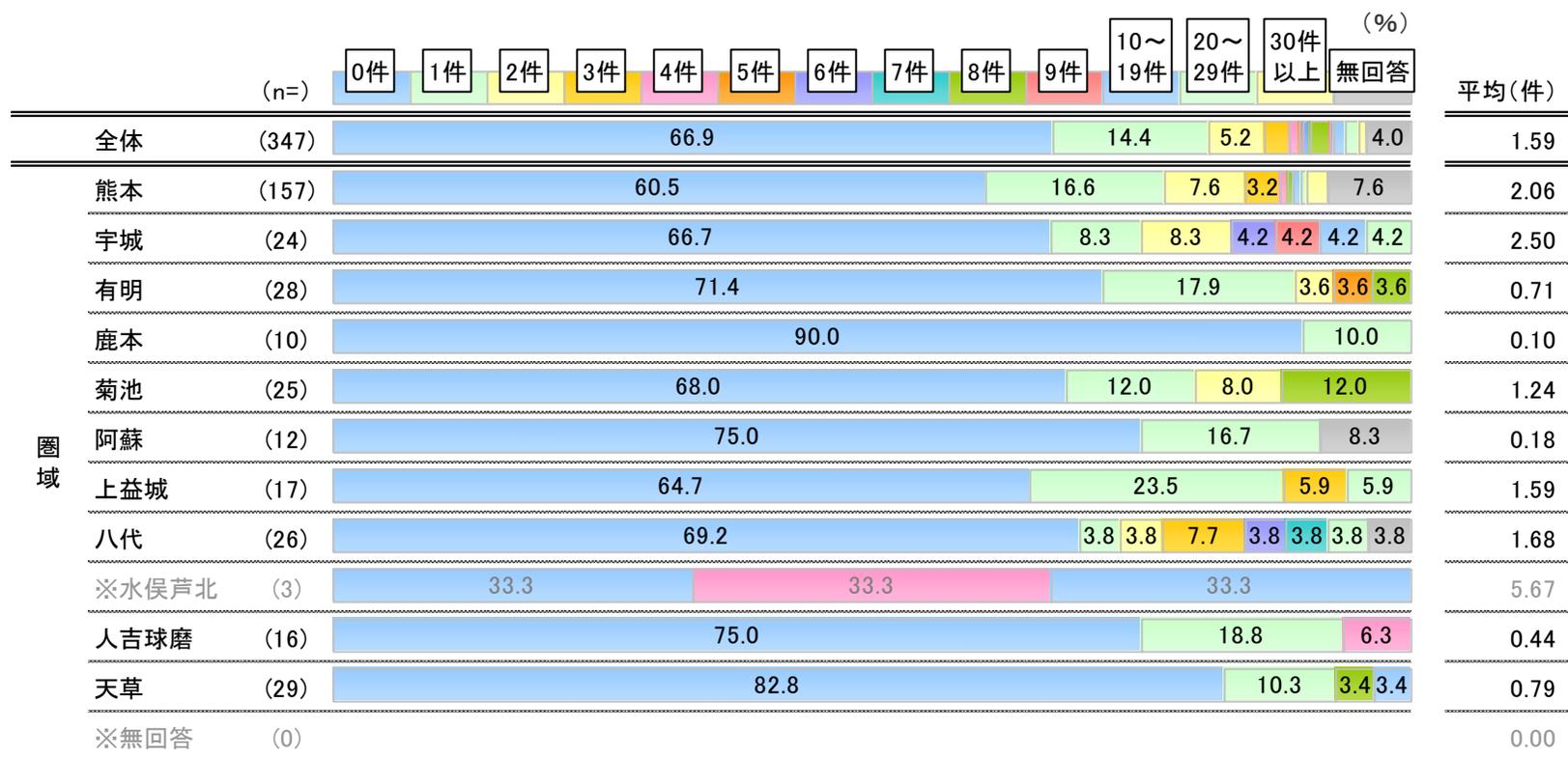
●全体では、「病院」が最も高く57.9%、次いで「訪問看護ステーション」が42.7%、「介護老人保健施設」が12.7%となった。



I - iii :【訪問リハ使用者】あなたの担当の1ヶ月(H22年10月)の短期集中リハ加算件数は何件ですか？

※参考値

- 全体では、「0件」が最も高く66.9%、次いで「1件」が14.4%、「2件」が5.2%となった。平均件数は1.59件となった。
- 圏域別で平均件数を見ると、最も多かったのは『宇城』で2.50件、次いで『熊本』で2.06件、『八代』で1.68件となった。一方、最も少なかったのは『鹿本』で0.10件、次いで『阿蘇』で0.18件、『人吉球磨』で0.44件となった。

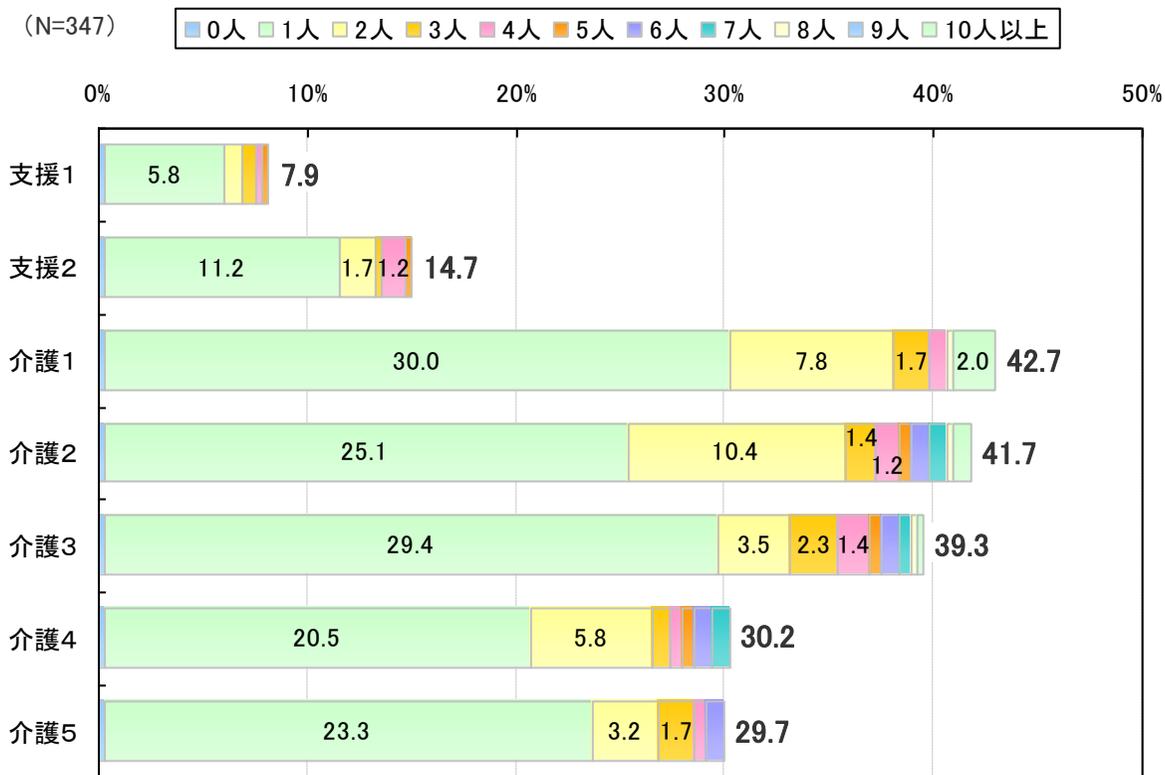


※ サンプル数が少ないため参考値

I-iv:【訪問リハ使用者】あなたの担当の1ヶ月(H22年10月)の訪問リハ利用者の介護度はどれ位ですか？

※参考値

- 「1人」～「10人以上」の合算比率は、「介護1」が最も高く42.7%、次いで「介護2」が41.7%、「介護3」が39.3%となった。「支援1」「支援2」は極端に比率が低く、それぞれ7.9%、14.7%だった。
- 「2人」～「10人以上」の合算比率は、「介護1」(12.7%)、「介護2」(16.6%)で10%超の比較的高い比率となった。

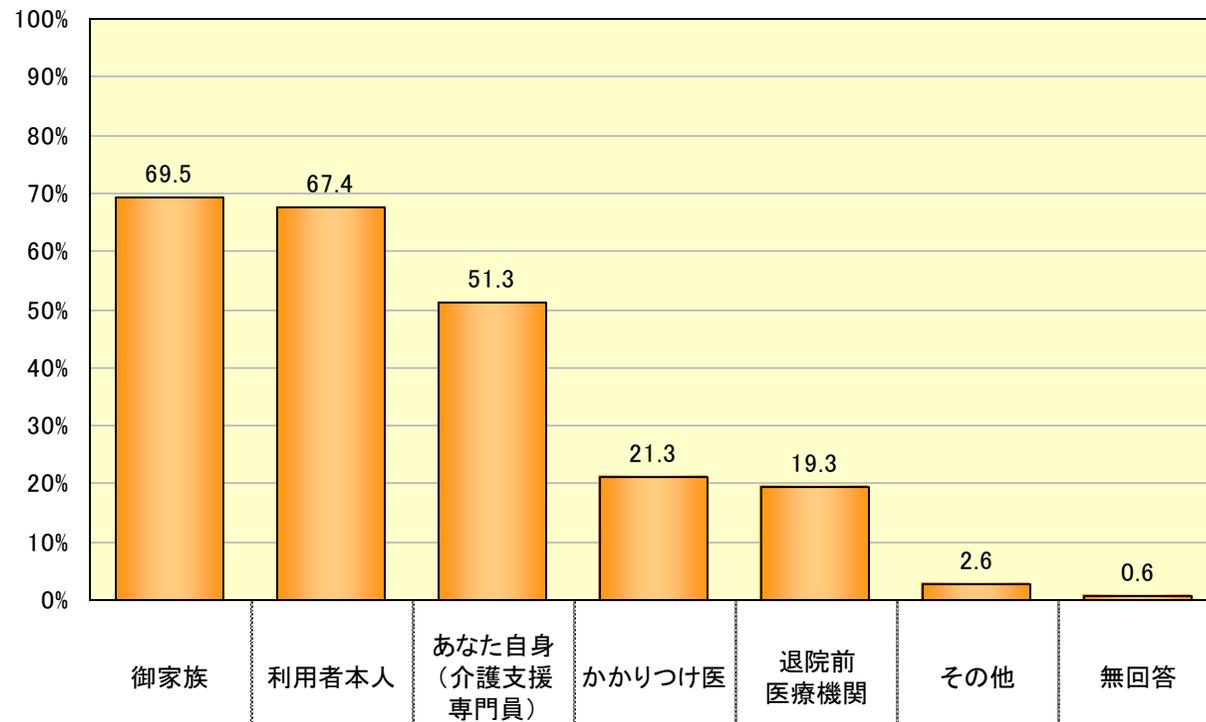


※ 太字の数値は「1人」～「10人以上」の合算比率

I - v :【訪問リハ使用者】訪問リハを希望されたのはどなたですか。 [複数回答]

●全体では、「御家族」が最も高く69.5%、次いで「利用者本人」が67.4%、「あなた自身(介護支援専門員)」が51.3%となった。

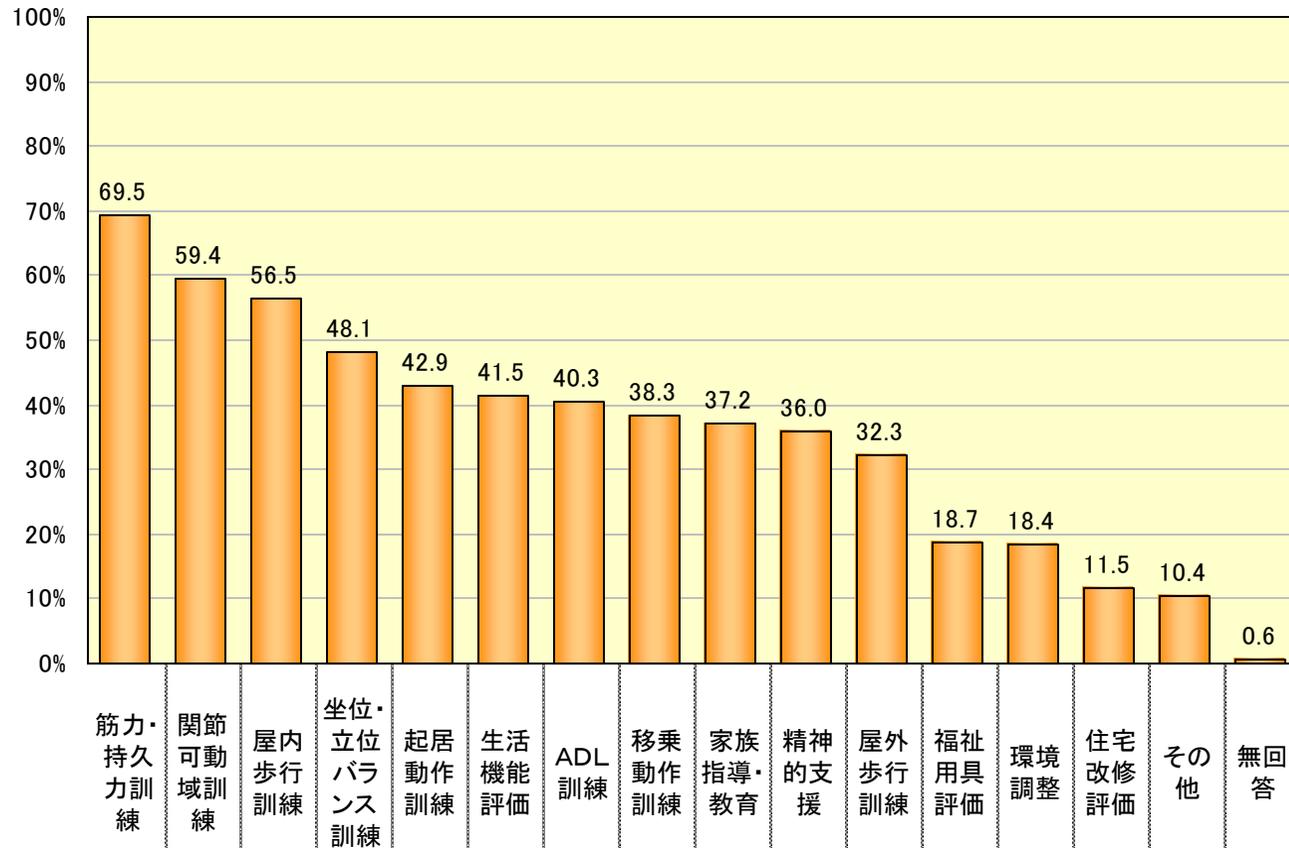
(N=347)



I -vi :【訪問リハ使用者】訪問リハを実施する主な目的は何ですか。 [複数回答]

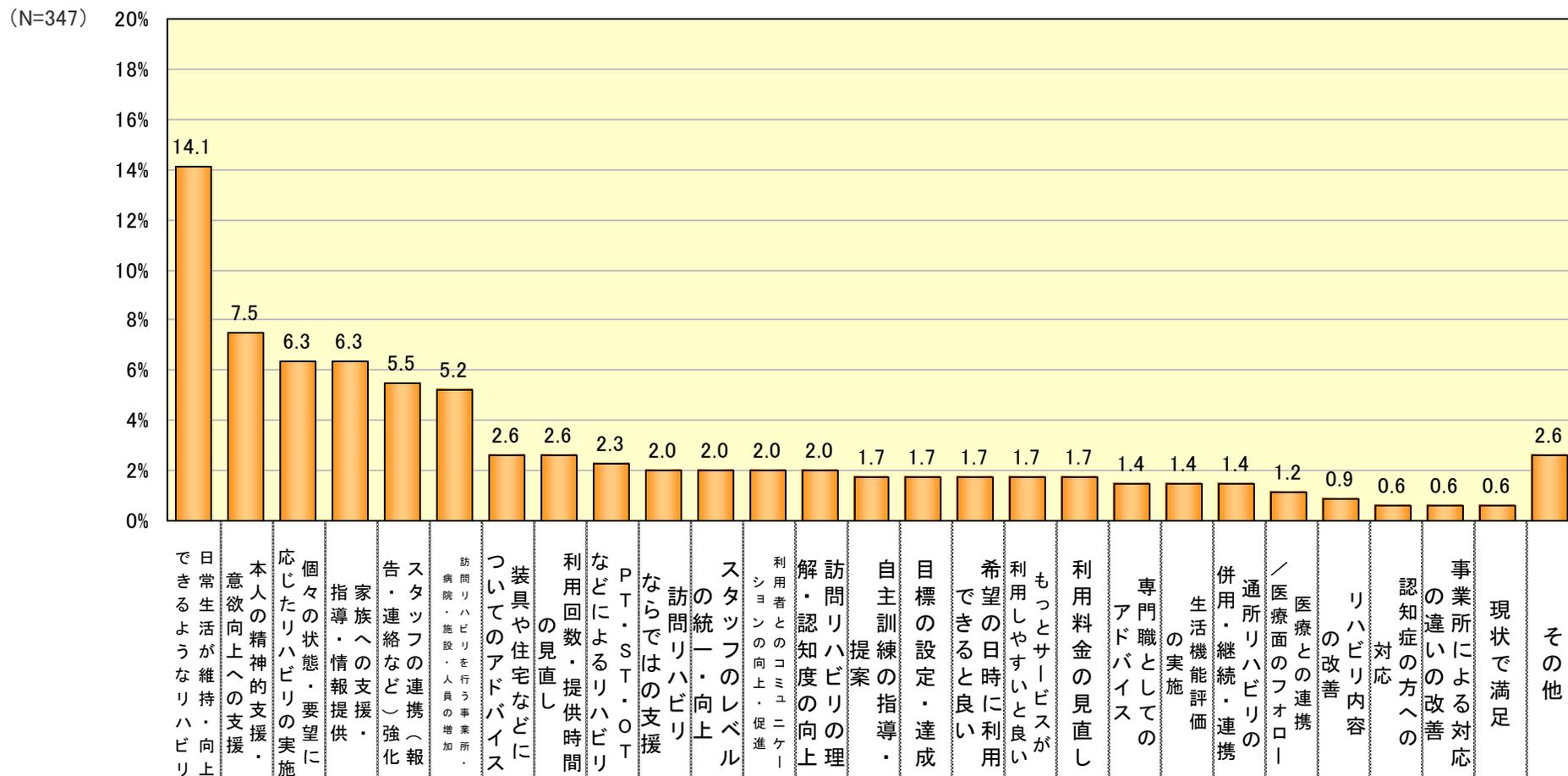
●全体では、「筋力・持久力訓練」が最も高く69.5%、次いで「関節可動域訓練」が59.4%、「屋内歩行訓練」が56.5%となった。

(N=347)



I -vii:【訪問リハ使用者】訪問リハに期待する事(あるいは、もっと改善すべきところ)は何ですか。 [複数回答]

●全体では、「日常生活が維持・向上できるようなリハビリ」が最も高く14.1%、次いで「本人の精神的支援・意欲向上への支援」が7.5%、「個々の状態・要望に応じたリハビリの実施」「家族への支援・指導・情報提供」がともに6.3%となった。



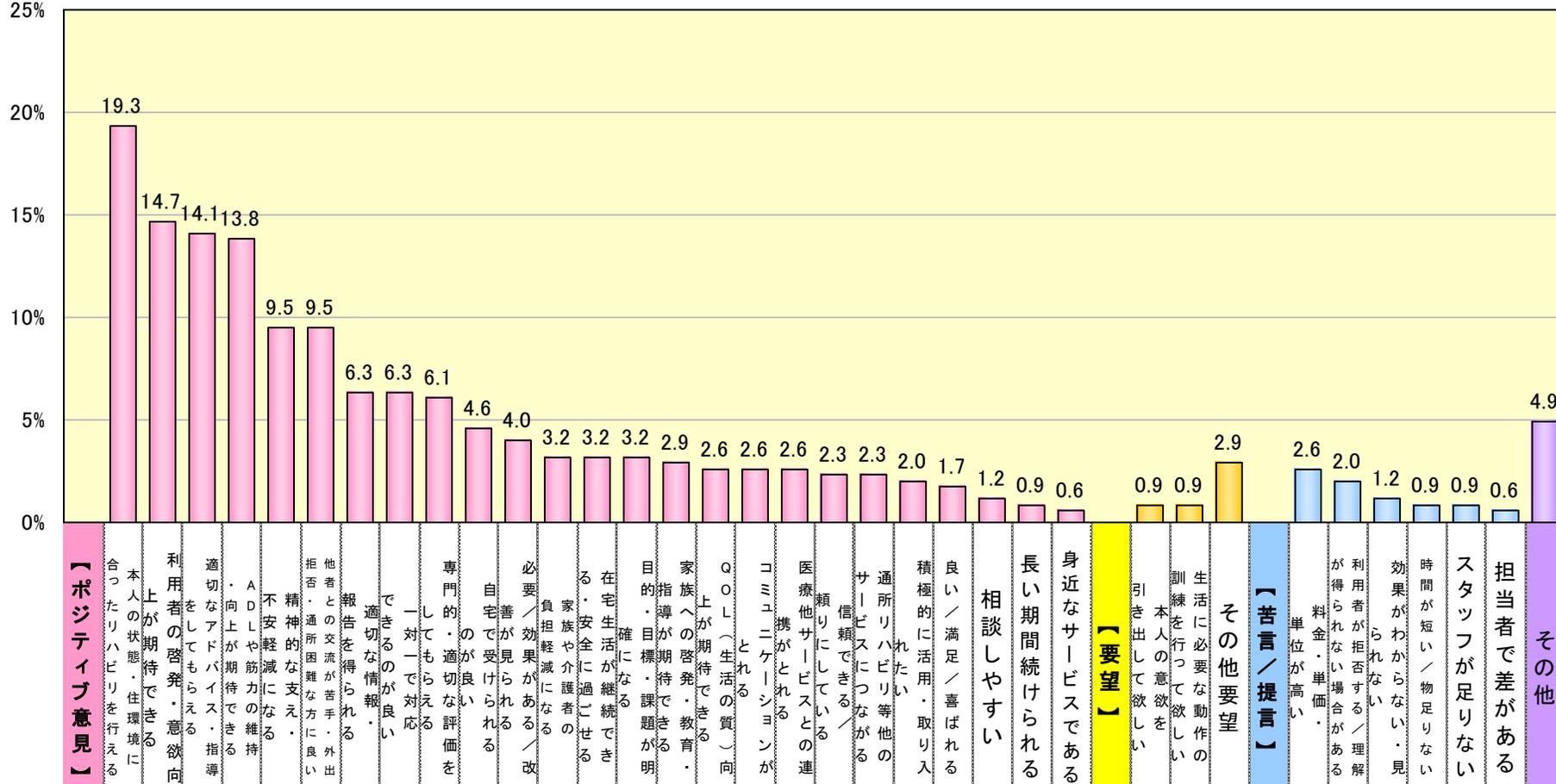
I -viii.1:【訪問リハ利用者】訪問リハを利用してどの様な感想をお持ちですか？

／あなた自身のご感想

[複数回答]

- 全体では、「ポジティブ意見」79.0%、「要望」4.0%、「苦言／提言」5.5%と、「ポジティブ意見」の比率が突出している。
- ポジティブ意見の中では、「本人の状態・住環境に合ったリハビリを行える」が最も高く19.3%、次いで「利用者の啓発・意欲向上が期待できる」が14.7%となった。
- 苦言／提言の中では、「料金・単価・単位が高い」が最も高く2.6%、次いで「利用者が拒否する／理解が得られない場合がある」が2.0%となった。

(N=347) 25%



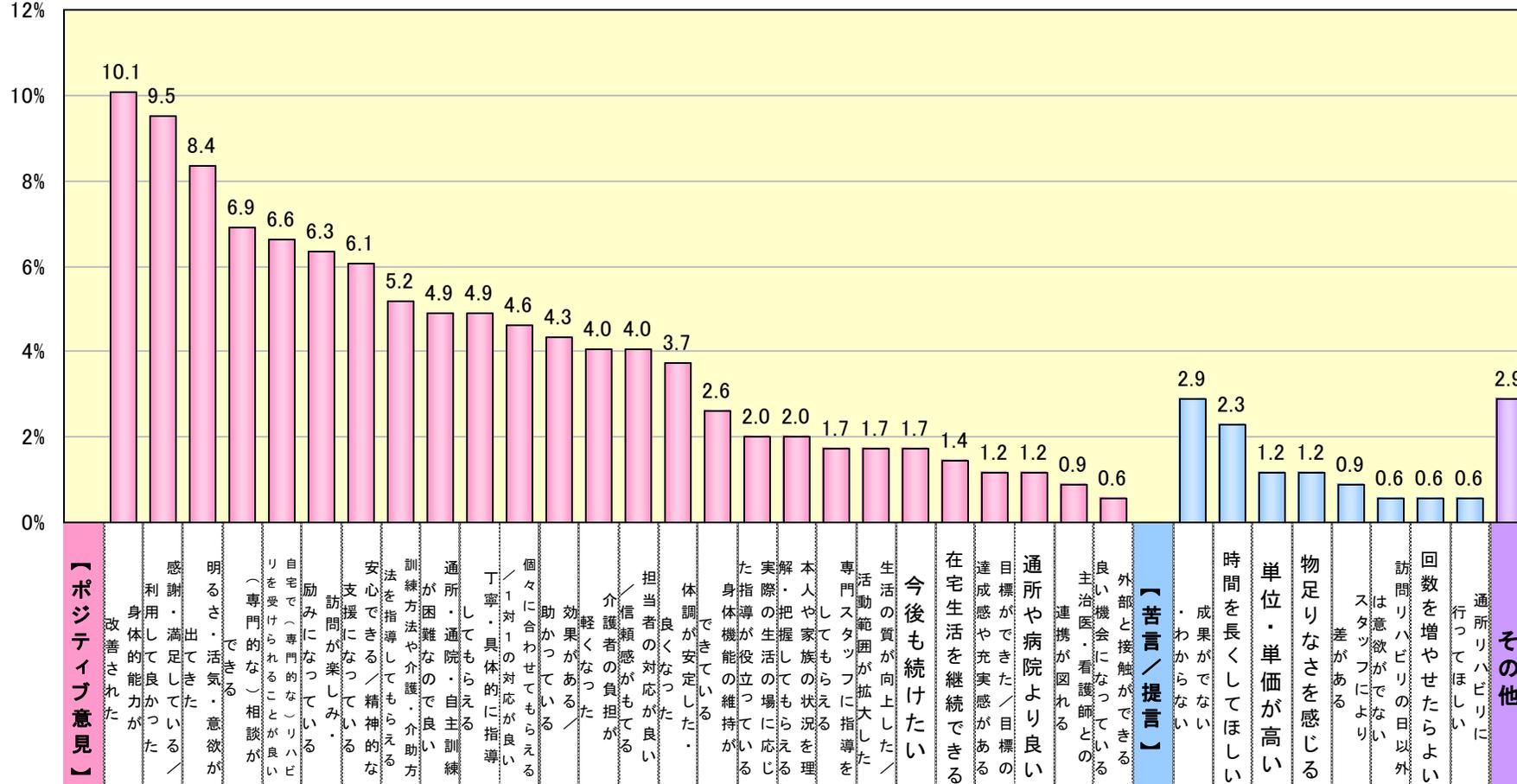
I -viii.2:【訪問リハ使用者】訪問リハを利用してどの様な感想をお持ちですか？

／利用者・ご家族からのご感想

[複数回答]

- 全体では、「ポジティブ意見」が66.6%と、「苦言／提言」の9.2%を大きく上回った。
- ポジティブ意見の中では、「身体的能力が改善された」が最も高く10.1%、次いで「感謝・満足している／利用して良かった」が9.5%となった。
- 苦言／提言の中では、「成果がでない・わからない」が最も高く2.9%、次いで「時間を長くしてほしい」が2.3%となった。

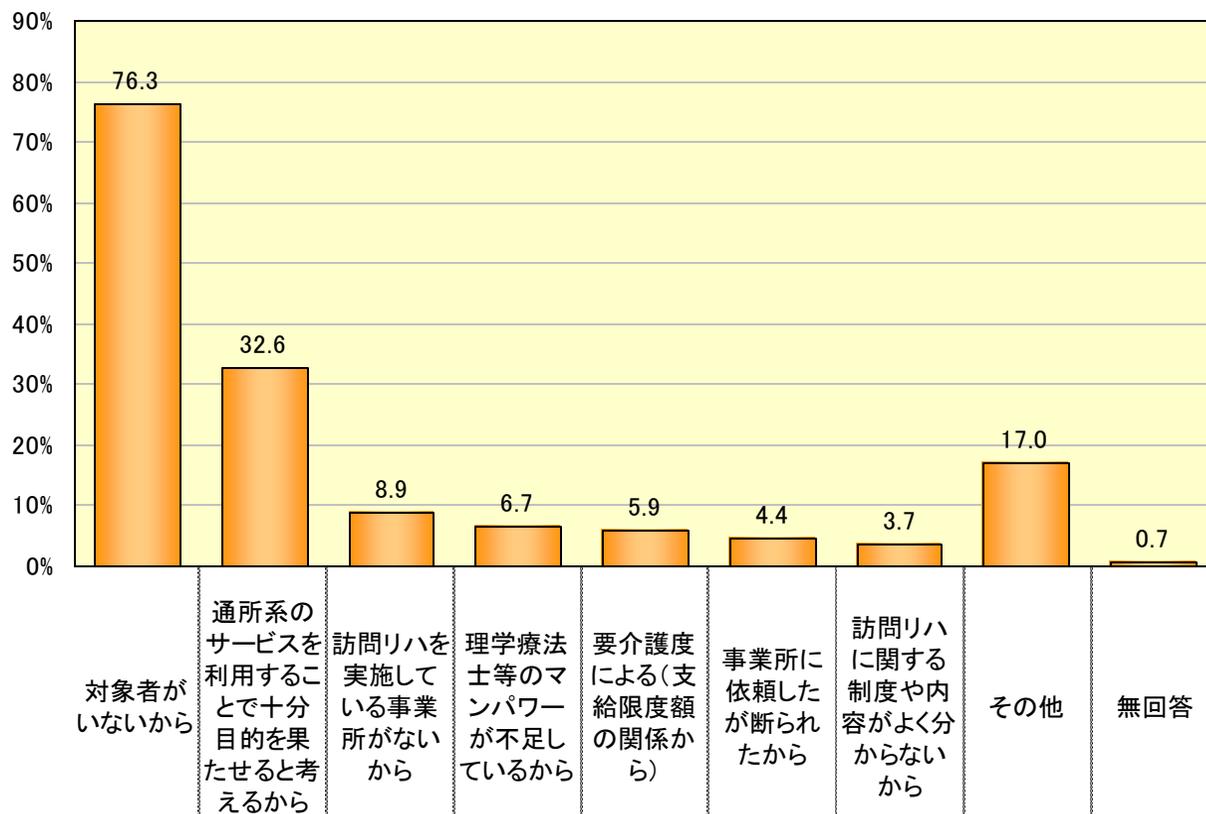
(N=347) 12%



Ⅱ-i:【訪問リハ非使用者】現在訪問リハを使っていない理由について伺います。【複数回答】

●全体では、「対象者がいないから」が最も高く76.3%、次いで「通所系のサービスを利用することで十分目的を果たせると考えるから」が32.6%、「訪問リハを実施している事業所がないから」が8.9%となった。

(N=135)



Ⅱ- ii :【訪問リハ非使用者】上記Ⅱ- i の理由が改善されれば、訪問リハを使ってみようと思いますか。 [MA]

●全体では「思う」が81.5%と大半を占め、「思わない」は2.2%に留まった。

(N=135)

